

論文審査の要旨
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 (学 術) Ph.D.	氏 名 (Candidate Name)	杜 紅 陽
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当		
論 文 題 目 (Title of Dissertation) 中国語を母語とする日本語学習者における条件表現の誤用に関する研究 －「と」「ば」「たら」「なら」を中心に－			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)		教授 佐藤 暢治	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授 高永 茂	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授 荒見 泰史	
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授 于 康 (関西学院大学 大学院国際コミュニケーション文化研究科)	
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、『YUK タグ付き中国語母語話者日本語学習者作文コーパス』Ver.12 (以下、『YUK コーパス』と記す) から抽出された「と」「ば」「たら」「なら」の誤用に焦点をあて、中国語を母語とする日本語学習者 (以下、学習者と記す) がどのようなタイプの誤用をなぜ産出するのか、加えて、学習者が捉える条件表現とはどのようなものであるのかを明らかにしたものである。</p> <p>本論文の構成は、次のとおりである。</p> <p>第1章では、本研究の目的、意義、研究資料、研究方法、本研究で用いる用語、構成などを述べている。</p> <p>第2章では、条件表現「と」「ば」「たら」「なら」に関する先行研究を、条件表現の意味機能、日中対照言語学、習得研究、誤用研究等から整理し、先行研究の問題点を指摘したうえで、残された課題を述べている。</p> <p>第3章では、『YUK コーパス』で観察される条件表現「と」「ば」「たら」「なら」の誤用について、その全体像を概観し、第4章以下で考察対象とする誤用を、用例を交えながら論じている。</p> <p>第4章から第6章は、第3章に従い、「なぜ学習者が『と』『ば』『たら』を使用するのか」を考察している。第4章では、「と」「ば」「たら」間に観察される6種の混用に焦点をあて、「と」「ば」「たら」それぞれの誤用を分析したうえで、誤用が起きる要因を論じている。第5章では、「と」「ば」「たら」とテ形との間に観察される混用3種について分析を行い、誤用が起きる要因を論じている。第6章では、「と」「ば」「たら」に認められる上記以外の誤用から「ても」、時間表現との混用及び条件表現の二重使用を特に取り上げて分析を行っている。</p> <p>第7章では、「なぜ学習者が『なら』を使用するのか」について、「ば」「たら」との混用、主題あるいは対比を表す「は」との混用を中心に考察している。</p> <p>第8章では、本研究で得られた成果を総括したうえで、今後の課題について述べている。</p> <p>本論文は、次の3点で高く評価できる。</p> <p>1. 誤用コーパスの性質を理解したうえで詳細な言語分析を行い、学習者が「と」「ば」「たら」「なら」をどのように捉えているのか、その傾向を明らかにしたことである。学習者は、「と」「ば」「たら」についてはその前件のアスペクトに基づき、「具体的な動作や変化であるのかどうか」、「完了したかどうか」によって使い分けをし、具体的な動作や変化を表す役割を担うのが「と」と「たら」であり、「完了」には「た」の持つ意味から「たら」を使い、そうでないときには「と」を使う。対照的に、具体的</p>			

な動作や変化を表さず、事態を全体的に描き出すときには「ば」を使うことを明らかにした。他方、「なら」については「と」「ば」「たら」とは異なる様相を呈し、事態やモノのとりたてとして捉えていることを明らかにした。

2. 学習者にとって、条件とは何であるのかを明らかにしたことである。学習者が捉える条件とは、普遍的に成り立つ知識・常識にとどまらず、個人的体験や文脈にも基づくものであり、普遍的に成り立つ知識・常識をもとに判断する日本語母語話者に比べ、広範囲なものであることを明らかにした。
3. 学習者の誤用には、誤用の引き金となる文が存在し、「と」の誤用には「春になると、花が咲きます」のような教科書の定型例文がおおきくかかわっていることを明らかにした。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（学術）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。

令和 6 年 7 月 29 日

備考 要旨は、A4版2枚（1,500字程度）以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed A4 size, 2 pages (about 500 words).)